

平成 1 6 年 9 月 1 7 日

合併意見交換会の結果について

- 1．会場別参加人数
- 2．合併意見交換会会場アンケート集計結果
- 3．合併意見交換会テーマ別意見件数
- 4．合併意見交換会における主な質疑応答
- 5．合併意見交換会会場アンケートの意見

石狩市企画財政部企画調整課

1. 会場別参加人数

開催日	曜	開会時刻	会 場	参加人数	会 場	参加人数
8 月 17 日	火	7:00 PM	南 3 条会館	29	北生振研修センター	10
8 月 18 日	水	7:00 PM	花川南睦美会館	25	白樺会館	31
8 月 19 日	木	7:00 PM	南 1 条会館	48	花川東会館	14
8 月 20 日	金	7:00 PM	花川中央会館	16	紅葉山会館	19
8 月 21 日	土	10:00 AM	紅南会館	16		
		2:00 PM	ニューあかしや会館	32	サンコーポラス石狩自治会	2
8 月 22 日	日	10:00 AM			市営花川団地自治会	3
		2:00 PM	花川南第 1 会館	21	漁民団地会館	4
8 月 23 日	月	7:00 PM	ひまわり会館	27	弁天会館 1 8 : 3 0 ~	12
8 月 24 日	火	7:00 PM			石狩中央会館	19
8 月 25 日	水	7:00 PM	コスモス会館	13	親船会館	38
8 月 26 日	木	7:00 PM	センターコート花川自治会	8	柏水会館	11
8 月 27 日	金	7:00 PM	花川南会館	26	緑苑台グリーン会館	4
8 月 28 日	土	10:00 AM	花川南第 2 会館	16		
		2:00 PM	道住樽川北団地自治会	5		
		6:00 PM			生振研修センター	17
8 月 29 日	日	10:00 AM	パストラル会館	15	わかば会館	22
		2:00 PM	緑ヶ原会館	11		
8 月 30 日	月	7:00 PM	公民館樽川分館	16	高岡研修センター	8
9 月 1 日	水	7:00 PM	花畔中央会館	45	八幡コミセン	19
9 月 4 日	土	4:00 PM			花畔農住団地会館	22
9 月 5 日	日	7:00 PM	グリーンコート花川団地自治会	9		
			小 計	378	小 計	255
				合 計 (+)		633

633人 / 35会場 18.08人

２．合併意見交換会会場アンケート集計結果

○全参加者数 633 人中、回答者 453 人（回収率 71.6％）

Ｑ１ 「合併する場合の姿」の説明は、いかがでしたか？

よくわかった	まあまあ わかった	ふつう	あまり わからなかった	ほとんど わからなかった	無回答	合 計
57	216	85	79	11	5	453
13%	48%	19%	17%	2%	1%	100%

Ｑ２ 「合併しない場合の姿」の説明はいかがでしたか？

よくわかった	まあまあ わかった	ふつう	あまり わからなかった	ほとんど わからなかった	無回答	合 計
67	204	92	69	9	12	453
15%	45%	20%	15%	2%	3%	100%

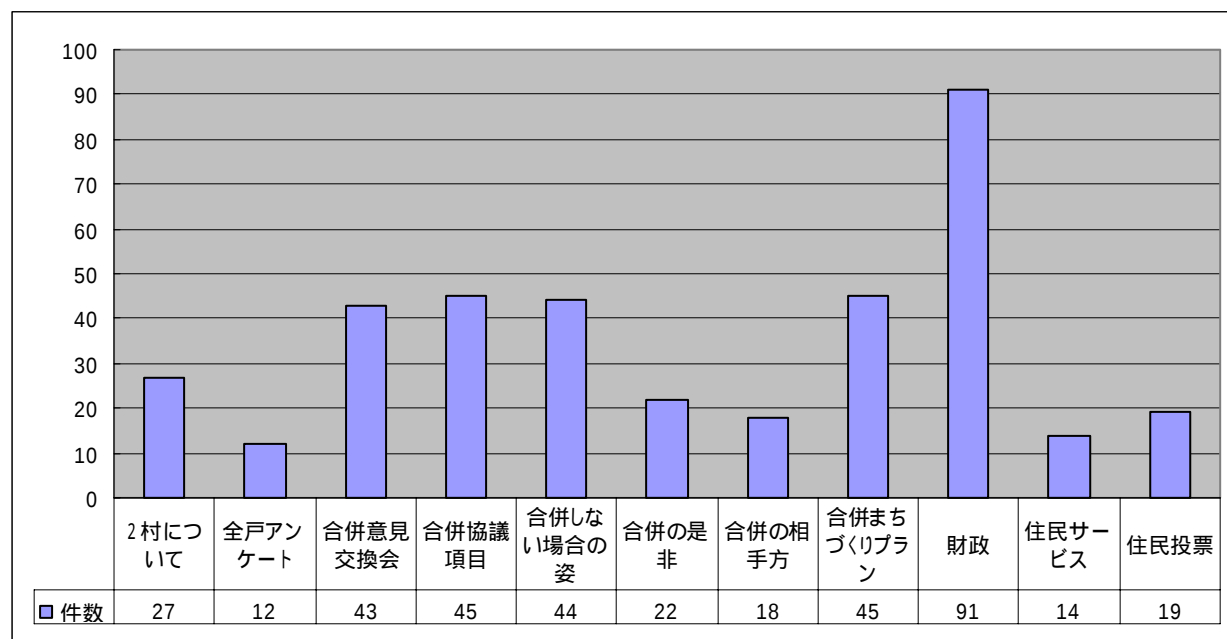
Ｑ３ 意見交換会の進め方は、いかがでしたか？

よかった	まあまあ よかった	ふつう	あまり よくなかった	よくなかった	無回答	合 計
66	136	161	43	16	31	453
15%	30%	36%	9%	3%	7%	100%

Ｑ４ 現在、市民全体の３市村合併に対する関心は、どの程度だと感じますか？

高い	ふつう	低い	無回答	合 計
90	134	188	41	453
20%	30%	41%	9%	100%

３．合併意見交換会テーマ別意見件数



4. 合併意見交換会における主な質疑応答

(1) 2村について

質問要旨	件数	回答要旨
厚田・浜益は合併についてどう考えているのか	11	浜益は11月に住民投票をするので、その結果が出なければ分からないが、先日公表された「合併しない場合の姿」は相当厳しい内容である。厚田は「合併しない場合の姿」を作成中で、住民説明の結果を踏まえて判断すると聞いている。3市村とも合併を前提とした協議はしていない。
石狩が合併するとした場合に、2村のどちらかが合併しないとなったらどうなるのか	7	3市村の合併について協議しているので、どこか一つでも欠けた場合は、今回の合併は不可能となる。

(2) 全戸アンケートについて

質問要旨	件数	回答要旨
アンケートの方法、結果公表方法などの予定は	6	広報と同様の方法で、各戸に1枚配布する。未成年者も含め、家族でよく話し合って回答願う。回答結果は分析の上、速やかに公表する。結果を市としての判断にどう活かしたかについても公表する。

(3) 合併意見交換会について

質問要旨	件数	回答要旨
意見交換会への集まりが悪い。市も町内会を活用したり、PR方法などを工夫すべき	12	動員をかける性格の集まりでないが、費用対効果の面も考慮しながら、できる限りの方策は講じているつもり(8/19から広報車で街宣も開始)。
合併に誘導しようとする資料・説明内容ではないか	11	現行制度では財政的な差が出ることは避けられないため、そのことを認識した上で判断願いたいと考えているが、だから合併したほうが良いという意図はない。財政的な不利を承知の上で単独を選ぶみちもある。
説明資料は事前に全戸配布すべき。説明を聞いてもすぐには理解できない	6	資料の全戸配布は9月に行う。今回は関心のある市民に二つの姿をいち早くお知らせする趣旨で行っている。今日の説明と併せてじっくり読んでいただき、疑問点などは9月の意見交換会に出していただきたい。
合併する場合のほうが資料が立派(説明が長い)であり、合併ありきだ	5	資料には概要パンフと行政資料という違いがあるが、いち早く二つの姿をお知らせする趣旨で、合併しない場合の概要パンフができる前に説明している。また、二つの姿の内容が違いため、それをきちんと説明しようとする、時間はどうしても均等にはならない。

(4) 合併協議項目について

質問要旨	件数	回答要旨
編入合併なのだから(今でも多いから)議員定数を一時的に50人とする在任特例の適用には反対	10	編入合併だが議論は対等であり、30人案との間で綱引きがあったが、報酬もからませて歩み寄った結果。議員の定数は議会しか決められず、議会を動かせるのは有権者であることを理解願う。なお、合併した場合は、協議会の附帯意見が定数削減を促す効果を持つ。
議員報酬を統一しなくても良いのか、それで2村の議員は納得しているのか	3	他の合併市町村でもこのようにしている例がある。議員も加わった協議の中でこうした結論を出している。

(5) 合併しない場合の姿について

質問要旨	件数	回答要旨
合併新法による北海道知事の勧告は断ることができるのか	10	勧告は合併協議会の設置を促す趣旨であり、断ることができる。ただ、実際に厚田・浜益が困っているときに断れるかどうかは、難しい判断になるのではないかと。
合併しないと石狩がつぶれるということか。合併しない場合でもつぶれないようにするのが市の責任だ	6	単独の場合に、合併する場合と同じような事業などをすれば財政破たんが避けられないことを説明している。合併した場合しない場合の姿の中で例示しているような取り組みをすれば、市はつぶれない。
職員が職場を掃除するのは民間では当然。合併の有無にかかわらず行うべきことだ	5	現行制度では掃除をするなら勤務時間内に行わなければならない、当然のこととして扱うことは難しい。また、清掃労働者の職を奪うことにもなる。ご意見としては承る。
国の態度は脅迫だ。なぜそんなに合併させようとするのか	4	国が合併を進めるのは、市町村合併も構造改革の一環であり、小規模市町村が分立したままでは今後地方分権などがスムーズに進まないと考えているから。確かに脅迫かもしれないが、こうした法律ができたのは、政治状況の結果であり、国民の選択の結果である。

(6) 合併の是非について

質問要旨	件数	回答要旨
市、市職員、協議会委員、議会などは合併の是非をどう考えているか	4	今のところ市は中立の立場で、市民意見などを十分聴いた上で検討することになる。市職員などの考え方は把握していない。
合併に反対する人たちはどういう理由なのか	2	自立を選択した自治体では、財政的な不利を承知の上で、まちの名前やまちの中心などを大切にしたいなどの理由があったと思う。石狩の場合はまだ良く分からない。公聴会などではっきりすると思う。

(7) 合併の相手方について

質問要旨	件数	回答要旨
当別との合併は考えなかったのか、なぜ浜益との合併なのか	8	最初の段階では石狩北部 5 市町村で、という話もあったが、当時は当別が単独志向で、新篠津も飛び地になるので断念し、現在の 3 市村の枠組みになった。
なぜ札幌との合併を考えないのか	4	札幌市長はどことも合併する意志がない。合併は相手がその気にならなければ不可能。道州制が本格化すれば、道央圏全体の中でそうした動きが出るかもしれないが、今の時点では選択肢にならない。

(8) 合併まちづくりプランについて

質問要旨	件数	回答要旨
合併した場合の市域が南北 80km にもなる点に不安がある	4	今を基準にして考えれば長いかもしれないが、他の合併が進めば極端に長いとはならないのではないかと。国道 231 号の整備による交通アクセスの確保、地域イントラネットによる情報通信網整備、地域自治組織による地域の声の反映など、距離を克服する対策を講じている。
合併したら軌道系交通機関が実現するのか	4	軌道系交通機関は簡単に実現できるものではなく、合併の有無にかかわらずねばり強い活動が必要と考える。このため、合併する場合の表現も、「実現」ではなく「導入促進活動の推進」としている。

(9) 財政について

質問要旨	件数	回答要旨
合併特例債の返済期間や利率、交付税措置などは	16	特例債は合併してから 10 年間借りられる。返済は 15 年間、利率は 1%、毎年の返済額の 7 割が交付税措置されるものとして財政計画に計上している。
合併特例債による合併まちづくり基金を積むことにより既存の借金をなくせるのか、特例債を使えば新しい借金を背負うことになるのでは	9	基金は新市全体のまちづくりに使うものだが、起債償還が苦しい時期には繰替え運用により一時的に赤字の穴埋めに使える。また、合併しない場合でも行う事業につき、通常債に代えて特例債を借りることにより、市の負担が軽減できるので、その分を償還に回すこともできる。
市の財政が苦しくなった原因は何か	8	最大の原因は税収が減少していること。不景気で新港地域からの税収が落ちていることが大きい。また、三位一体改革による交付税の減少もある。一方で借金の返済額は決まっているし、市民サービスは税収が落ちても簡単には削減できないので、それらのギャップにより財政が厳しくなっている。

国の財政支援は当てにできるのか、次の世代に負担を回すことになるのか	6	合併特別債は法律で決まっているもので、現時点ではこれ以上の保証はない。ただし、交付税の総額は縮小傾向にあるので、財政支援分以外の交付税が割り落とされる可能性はある。
財政指標は単独の場合のほうが良い。合併しないほうが良いということか	4	単独の場合は、相当の我慢をした結果が指標の向上に反映されている。従って、二つの姿のどちらが良いかは指標だけでは判断できないと思われる。
合併すると市域が広くなるため経費がかさむと思うが	3	確かに狭いまちよりも広いほうが一般的にはコストがかかるが、財政計画ではそうしたコストもすべて含めた上で計算している。

(10) 住民サービスについて

質問要旨	件数	回答要旨
2 村の下水道整備により石狩の整備が遅れたり一般会計を圧迫することはないのか	2	会計は別として試算しているので石狩の下水道整備に影響はない。厚田の下水道は採算が取れないが、その赤字補填を見込んだ上で試算している。
合併による高齢化は新市財政に影響しないとの説明だが、介護保険や医療費などでやはり影響があると思う	2	介護保険料は特別会計で処理するため単独のときよりも上がる見込み。医療費は合併による高齢者の増加をきちんと見込んで計算した結果である。

(11) 住民投票について

質問要旨	件数	回答要旨
合併は住民投票によるべき住民投票の動きがあるがどうなるのか	10	現在、住民投票条例の制定を求める直接請求手続が行われており、約 900 の署名が集まれば議会にかけられる。市長は意見は言うが決めるのは議会。市長の意見はアンケートの結果も参考にしながら検討すると思われる。
署名がどれだけ多くても住民投票の是非は議会が決めるのか	2	そのとおりだが、議会の判断に不満ならリコールという手続きもある。

５．合併意見交換会会場アンケートの意見

(１)	３市村合併に反対、慎重、消極的な意見	33
(２)	３市村合併に賛成、やむなし、積極的な意見	22
(３)	住民投票実施に積極的な意見	16
(４)	住民投票実施に消極的な意見	9
(５)	合併ありき、合併しかないとの説明に感じるとの意見	13
(６)	その他説明内容、市民説明の進め方などに関する意見	16
(７)	二つの姿に対する意見、提案など	10
(８)	市民の関心、意見交換会への参加状況などに関する意見	11
(９)	その他の意見	47
	意見合計	177

(１) ３市村合併に反対、慎重、消極的な意見

・財政支援があるとはいえ、後でシワ寄せがくるようで不安。

・我慢をしてでも自立を選んだ方が、市民と職員の一体感や地域の連帯感が得られるのではないかな。

・現時点では合併の必要は無いと感じた。

・厚田・浜益の人たちにとって、合併するのが良い事なのか。一時的な金のために、歴史を無くしてしまうのではないかな。

・合併は反対。

・合併した時に、２村の高齢者の分だけ石狩の負担が増えることになるので、合併に反対。

・今までどおり単独で。

・２村だけで合併すればいい。

・細長く広大な土地をどのようにして治めるのか不安が大きい。

・合併しない場合の取り組み方向(行政体制のスリム・効率化、協働による行政コスト削減、受益者負担の原則)といったものは、30年位前に戻れば当たり前の事なので、市民の自立意識・地域の仲間意識を持つこと等を考えると、我慢も必要であると思う。

・現状では石狩は合併しなくてもやっていける気がする。厚田と浜益の救済のための合併ではないかな。

・合併反対。

・合併特例債というアメをあてにして安易に合併すると、将来手痛いしっぺ返しを食らうおそれはないだろうか。むしろ厳しいが自立するという覚悟を持って住民・職員が行政に取り組んだ方が、一体感を持って将来の安定が得られるのではないかな。

・もう少し情勢の動きを待って、札幌周辺の合併も視野に入れるべきではないかな。

・してもしなくても同じなら、しない方がいい。

・合併はしたくない。殿様生活を戦後の生活に戻す必要あり。

・合併には反対。26年度以降の財政政策については不明。その点の説明がないまま３市村の現行事業を継続するのであれば、ただの問題の先送りではないかと思う。

・合併しなかった場合は不利な事ばかりを強調している。今は苦しくても自立を選ぶ道はあると思う。

・２村の将来については国が責任を持つもので、石狩市が面倒をみなければならないことはない。

・人件費をもっと減らし、合併せず単独で進んだ方がよい。民間を活用してサービスの維持を。

・本当に市民のための合併になるのか。石狩市のための合併ではないのか。

・自立心や自助努力もせず、過疎債に頼った運営しかしてこなかった村と、そのまま合併することに不安を感じる。

・特例債のうち３割分はただの借金なのだから、それは次の世代に引き継がれてしまう。

・しない方がいいと思えてきた。２村が勧告によって石狩との合併を協議するとなった場合には、現在の協議結果とは違う形になったのではないだろうか。

・２村との交流はほとんどなく、合併しても地域エゴがぶつかるだけ。合併には絶対反対。

・特例債の期限後の財政状況がどうなるか見えないので、合併は不安。ガマンした方がいい。

- ・合併は市町村の自立を妨げる。地方分権・地方自治法から言って、違法と言うほかない。
- ・特例債も結局は借金なので、将来どうなるのか不安。
- ・合併しない。
- ・離れた地域との話し合いは、国の施策とはいえ納得がいかない。
- ・合併に反対。
- ・合併反対。自治権はどうなるのか。国は責任を放棄しているのではないか。
- ・雄冬地区は増毛と合併した方がいいのではないか。

(2) 3 市村合併に賛成、やむなし、積極的な意見

- ・将来合併を強制されるなら、今合併した方がいい。
- ・将来、強制的な合併に進む事が見込まれるならば国の権力で合併させた方が良い。
- ・若い世代のためにも、石狩の国づくり計画を積極的に進めるべき。
- ・道州制特区との関連があるので、厚田・浜益の方が合併OKであれば今回合併した方が良いと思われるが、現在の市財政の削減については細部事項も含めて検討した方が良い。
- ・合併は必要かもしれないと感じた。もっと詳細に説明を行えば賛同する人も増える。今日の説明会は有意義だった。
- ・合併して、いいまちになってほしい。
- ・現状を考えると、合併を進めて少しでもより良い環境を作ってもらいたい。
- ・厚田・浜益の村民のため、石狩市民の幸福のために合併してもらいたい。
- ・どちらにせよ合併は将来的に必要なという気がしたし、それならば合併は早いほうがいいのかもしれないと感じた。
- ・合併するにしてもしないにしても、我慢は強いられると思っている。それならば前向きな将来のまちづくりに可能性をかけてみたい。
- ・合併賛成。
- ・合併は必要ならば早くした方がいいし、あいまいではない方がいい。
- ・市政発展・財政健全化、あるいは市民生活向上のため、積極的に合併を進めるべき。
- ・特例債がなければ近い将来財政難となることは避けられない以上、合併した方が良い。
- ・合併した方が良いと思う。
- ・国のアメとムチ政策の下では、不本意でも合併は止むを得ないと思う。
- ・基本的には合併賛成だが、まだ何か口に出来ない事があるのではないかな。
- ・積極的に合併賛成する。議会は合併協議会での協議結果を尊重すべき。消防・ごみなど、広域的に事務を実施しているという状況もあるのだから、財政的な援助を受け、合併が推進されることを望んである。
- ・住民に危機感をもっと発信してもいいのでは。合併は必要だと思う。
- ・合併すべき。
- ・これからの石狩の将来の発展を考えると、合併は必要だと思われる。
- ・これからの石狩の将来の発展を考えると、合併は必要だと思われる。

(3) 住民投票実施に積極的な意見

- ・市民の意見を聴くために住民投票をした方がよい。
- ・住民投票をすべき。
- ・住民投票がいいと思う。
- ・市民への説明、情報公開を十分行い、住民投票も視野に入れて方向性を見出すべき。
- ・アンケートや住民投票を早く実施すべき。
- ・住民投票はぜひやってもらいたい。
- ・在任特例を認めるような、保身の事しか考えない議員に合併の是非を判断してもらいたくない。議会での審議は、住民投票可否の議決だけで良い。
- ・アンケート+住民投票を実施すべき。子どもの将来のために、判断は慎重に。
- ・住民投票を実施すべき。
- ・住民投票がいいのではないかなと思う。
- ・この種の意見集約は、意見を聴く期間を区切り、あとは住民投票以外にない。
- ・住民投票を実施した方がいいと思う。
- ・住民投票が必要。
- ・住民投票を避けているのは、合併ありきで事を進めているからか。

- ・住民投票の実施と自立することに賛同する。
- ・住民投票を後ではなく、早い段階で行った方が良い。

(4) 住民投票実施に消極的な意見

- ・理解しないまま投票するおそれがあるので、住民投票はすべきではない。
- ・内容をわからずに投票する危険性があるため、住民投票はする必要がないと思われる。
- ・アンケートはいいが、住民投票は絶対にすべきではない。
- ・住民投票反対。
- ・住民投票のようなものは必要ない。
- ・このまま住民投票に流れることに危険性を感じている。真剣に考え、まずはアンケートの結果に注目したい。
- ・住民投票について、意見交換会への出席者が少ないため、内容をよく理解しないで投票する人が多くなるおそれがある。
- ・理解していない人を対象に住民投票を行うのは問題がある。
- ・住民投票するなら、もっと多くの議論を重ねる必要がある。

(5) 合併ありき、合併しかないとの説明に感じるとの意見

- ・合併した方が良いと説明しているように聞こえた。脅かされている感じがした。
- ・合併を前提にしている説明だと感じた。
- ・合併が決まっているかのような説明であつたし、脅かされているような感じがした。
- ・合併しないと財政破綻、合併すればバラ色という説明に聞こえ、既に合併すると決めていると感じた。
- ・市は合併を望んでいるのだと感じた。
- ・合併の場合は良い事ばかりの説明。
- ・合併が先行している印象。
- ・都合のいい事だけを説明された感じがした。
- ・市民の意見をきちんときいてほしい。説明を聞くと、合併が既成事実かのように思える。
- ・高齢者への給付事業と学校施設整備の所では、少し「おどし」と感じた。
- ・合併した方がメリットがあるような話であつた。
- ・合併ありきで動いている印象。
- ・合併ありきで動いている印象。

(6) その他説明内容、市民説明の進め方などに関する意見

- ・札幌市との合併の説明がなく、厚田と浜益との合併に終始している。
- ・どうして厚田・浜益と合併の話が出てきたのかを住民が理解できるように説明すべき。
- ・合併協議会の情報が多く出ていて、合併しない場合どう変わるのかがわからなかった。
- ・合併する場合としない場合を比較した情報をもっと出した方がよい。
- ・地方分権を担うために市町村合併を進めなければならないとする国の考えを、もっと強くアピールする必要がある。
- ・行政の動きが遅い。住民投票をやるにしても、来年の3月までにYES・NOの判断ができるのか疑問。
- ・合併しない場合の良い事がわからない。今後何度も説明が必要。
- ・資料を渡されてすぐには判断できない。内容をもっと市民に徹底してもらいたい。
- ・雇用効果についても説明した方がよい。
- ・意見交換会を2～3回開催すればよい。
- ・将来市民が負担する借金返済額を明確に示すべき。
- ・札幌との合併は現状では不可能な事を明確に説明すべき。すると合併の流れが変わると思う。
- ・昭和の合併とは要素が違う事を大いに強調すべき。
- ・もっと説明会を多く。
- ・合併するとなぜ経費が節減できるのか。特に物件費。合併しないと節減できないのか。
- ・合併する・しないに関わらず、今後のスケジュールを周知し、残りの時間で何ができるのかを考えるべきである。

(7) 二つの姿に対する意見、提言など

- ・合併しても公共料金は上がるのではないのか。地域特性を生かした収入を考えてはどうか。

- ・合併後の夢を示してほしい。
- ・自然活用の指針を具体的に示さないと合併の意義が無い。
- ・自立するための努力をしようとしていない。
- ・合併しても現在の事業を継続するかどうかという事で、豊かさは無いと感じた。
- ・合併特例債のみを当てにした、安易な考えでつくった資料だと感じた。
- ・合併しない場合の検討にあまり熱心でないという印象。
- ・今までの甘い見通しの中で行政を続けてきたツケの後始末を住民に押し付けている感じ。
- ・区長を必ず置くような考え方は、再就職先を作っているようなもの。職員の支所長だけで良い。
- ・税収が増えるような対策を計画に入れるべき。合併でバラ色なんて考えるべきではない。

(8) 市民の関心、意見交換会への参加状況などに関する意見

- ・これだけの参加者しかないという事は、合併について関心がないのだと感じた。
- ・説明会にこれだけしか集まらないということは、関心がないのだと感じた。
- ・市民がよく理解していない。好き嫌いの判断しかできない。
- ・若い人の意識が低い。
- ・参加者が少ないのは、市民の関心が低いのか、それとも他に問題があるのか。
- ・説明会への出席者が400、500人程度の少ないまま終わるのであれば、意味がないのではないか。
- ・合併に対する市民意識が低いのが残念。
- ・国の言うことに従わなければならないというあきらめムードが強い。
- ・関心は高いはずなのになぜ説明会の参加者が少ないのか。
- ・国に従い合併を進めているのだから、意見を出してもムダだと思っている住民は多い。
- ・市民各自の関心度は薄い。住民投票で簡単に決められるのは怖いこと。今日の説明を聞いて良かった。

(9) その他の意見

- ・財政的には合併する方がメリットがあると感じたが、行政の運営次第だと思う。
- ・最初の財政赤字を解消するため合併が必要という事か。
- ・目先の問題解決のための合併に思われる。
- ・合併は必ずしなければならないのか。
- ・合併が全国的に進むと、合併特例債等の財政支援の支出のため、国が財政破綻してしまうのではないかと不安。
- ・合併する場合の方が財政的にメリットがあるが、行政の運営次第であると思った。
- ・財政支援のシワ寄せがくるのではないかと心配だ。
- ・合併する前に行政を効率化しムダを無くす必要がある。合併する姿を見ても、目新しい所は無い。
- ・子孫に大きな借金を残さないようにしてほしい。
- ・札幌との合併を望む。
- ・高齢者の事ではなく、将来の事を考えた方が良い。
- ・財政支援が無くなった後の我慢は、合併した場合の方がより大きく重くなるのではないかと感じた。
- ・「合併した場合」とか「合併する場合」との言葉使用で、既に合併が決まったと思っている人もいる。
- ・議員の活動が見受けられない。合併後50人というのは議員優遇ではないか。
- ・札幌とバスの乗り継ぎができるようにしてほしい。
- ・話を初めて聞いたので、難しく理解できない。
- ・役所がもっと努力してほしい。
- ・市長の意見を聞きたい。
- ・ふざけるな。
- ・人口減少が確実なのに議員の数が多し。6万人程度なら議員数は15人でいい。
- ・青年団も合併を検討するが、助成金が今以上に増えると地域活性化につながる。
- ・今後は農協合併も必要だと思う
- ・市にお任せする。
- ・単身の身体障害者であり、生活するので精一杯。その中で何とか良い方法はないかと模索している。そのような悩みを抱えている人は大勢いるので、弱者の事を考えて、良い市ができるように願っている。

- ・2回聞くと以前より詳しくわかるようになる。
- ・説明会で合併についてわかってきた。
- ・市民一人ひとりが生活を見直す機会にしていきたい。
- ・マイナスイメージだけで合併を決めてはいけない。
- ・議員・市職員ともに努力し、人員の削減を。
- ・外国と一緒にいる訳ではないのだから、民族的にどうこうというのはおかしい。
- ・議員の説明は議員にさせても良いのではないか。
- ・職員が庁舎を清掃すると、住民の働く場がひとつ減る。
- ・市はムダ使いは多い。財政が苦しくなるのは当たり前。職員の人数も多い。ろくに仕事もしないで高い給料もらっている。
- ・合併してもしなくても議員は減らすべき。
- ・住民としての結論はもう少し先になる。
- ・市財政は危機的な状態と聞いている。財政が行き詰る危険は無いのか。
- ・月形町では刑務所や少年院があるため、法務省から金が来ると聞いた。石狩も広大な土地を利用してこのような施設を誘致してはどうか。
- ・単に金がどうこうではなく、3市村の総意により決定してもらいたい。
- ・私にはわからない。
- ・生活と関連があると思うが、説明を聞いてもわからなかった。
- ・今後も合併について関心をもち、見守っていききたいと思う。
- ・参考になった。
- ・合併しないと福祉面が大きく後退するのは残念。合併するときとしないときで、これほど差があることに驚いた。
- ・時間的な問題だけでは合併を考えにくい。
- ・合併への明るい見通しは何も感じなかった。
- ・今の時点で合併の○×を決めるのは難しい、合併する・しないを決める事ができない。
- ・今の時点で合併の○×を決めるのは難しい、合併する・しないを決める事ができない。

お問い合わせ

石狩市役所企画財政部 企画調整課

電話 72 - 3161 Fax 75 - 2275

Eメール kikaku@city.ishikari.hokkaido.jp